

Yamabiko

やまびこ

2024. 7
広報誌 No82



あつみ小学校5年生が温海中学校裏の遊友の森にて森林整備活動を行いました。

主なもくじ

- 第59回通常総代会、提出議案、令和5年度事業活動の概況 … 2
- 令和5年度事業部門別損益、損益計算書、貸借対照表 …… 3
- 令和6年度組合運営の基本方針 …………… 4
- 森の掲示板（J-クレジット創出への取り組み他） …… 5
- 新人技能職員の紹介、お願い他 …………… 6



JForest 温海町森林組合
<https://shinrin-atsumi.or.jp>



第59回 通常総代会

去る5月30日、温海温泉林業センターを会場に第59回通常総代会が開催されました。本年度は、実出席99名、委任出席及び書面議決権行使83名の計182名の出席（出席率91%）を得て、提出された8議案全てが承認・可決されました。



議長を務める早田総代本間治義氏

～ 提出議案 ～

- ◆議案第1号 令和5年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件
- ◆議案第2号 令和6年度年度事業計画設定の件
- ◆議案第3号 令和6年度借入金最高限度額決定の件
- ◆議案第4号 令和6年度余裕金預け入れ先金融機関決定の件
- ◆議案第5号 令和6年度一組員に対する貸付金並びに債務保証最高限度決定の件
- ◆議案第6号 令和6年度各種取扱手数料決定の件
- ◆議案第7号 令和6年度役員報酬決定の件
- ◆議案第8号 定款並びに附属書（役員選任規程及び総代選挙規程）一部改正の件

令和5年度 事業活動の概況

本年度は、コロナ禍による社会経済活動への制約が解消に向かうなか、観光地への人出の増加とともに各種政策の効果や雇用、所得環境の改善もあり国内経済は、緩やかな回復基調で推移しました。一方、不安定な国際情勢と円安の進行、原材料や生活必需品価格の高止まり、慢性的な人手不足などは景気を下押しする要因となりました。こうしたなか、全国的に夏の平均気温が、1898

年の統計開始以降で最も高くなり、県内でも連日のように猛暑日を記録し、厳しい暑さと雨不足が農作物に深刻な影響を与えました。また、ドングリやブナの実の凶作によるエサ不足からか、クマの出没と人的被害が全国で多発し、野生動物との共存をめぐり、あらためて里山等の森林整備の重要性が求められました。

さらに1月には、石川県能登半島を中心に震度7の大規模な地震とそれに伴う津波が発生

した。北陸地方に大きな爪痕を残しました。当地域でも地震による津波警報が出され、沿岸部の住民が高台に避難するなどの対策が取られたが、幸いにして県内での大きな被害はなかったが、被害に遭われた能登地域の早期復興が望まれます。

県林政においては、地域の豊かな森林資源を活用して雇用創出を図り、林業の振興と中山間地域の活性化に向け取り組んできた「やまがた森林ノミクス」が10年の節目を迎え、これまでの成果として、県産木材の生産量の増加や生産性が向上するなど、着実に取り組みの成果が現れてきています。

事業実績では、昨年設定した第三次中期「経営ビジョン・経営計画」にもあるタワーヤード（タワー付き架線集材機）を使用した地域に適した搬出システムの確立を目指し、森林中央金庫の「森力基金」の採択を受け鼠ヶ関地区において、林業専用道の開設とタワーヤードを活用した搬出間伐を行い、架線集材技術の習得に取り組みました。また、架線と平行して森林のレーザー測量を実施し森林地形図の作成や森林資源調査を行い、新たな林業技術の導入に努めました。さらに、資源の循環利用

と再造林を目的とした焼畑あつみかぶ栽培については、猛暑による発芽不良等に悩まされながらも栽培を行い、確実な再造林の実施と特産品の販売に貢献しました。組合員所有林の整備は、森林経営計画を越沢、小名部、小国、鼠ヶ関地区に9林班953haを策定して合意形成を図り、提案型集約化施策を軸に4団地で127haの間伐と皆伐14・6haを行い、木材生産量は林道支障木等を合わせ25、399mに達し、過去最高となりました。

こうした結果、木材需要の低迷と夏の猛暑に悩まされながらも、組合員所有森林の整備と搬出原木の適正な販売や労働生産性等の向上に取り組んだ結果、事業取扱高は54、579万円と計画比93%と下回ったものの、経常利益では5、425万円と増益となりました。

このような計画を超える報告をできたことは、組合員各位のご理解、ご協力の賜物であり、ご指導、ご支援を頂いた山形県、鶴岡市並びに係機関に対し衷心より感謝を申し上げます。

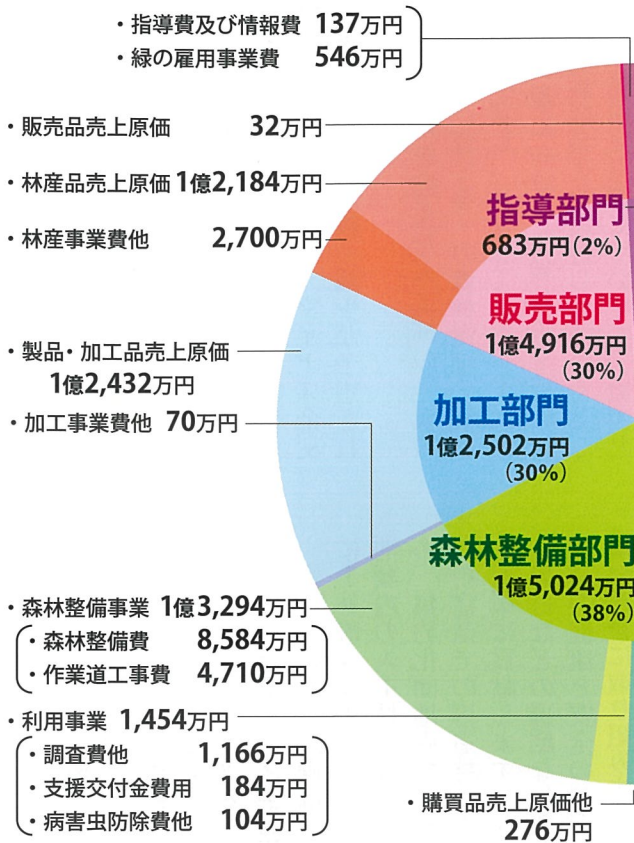


挨拶を述べる代表理事組合長佐藤静夫

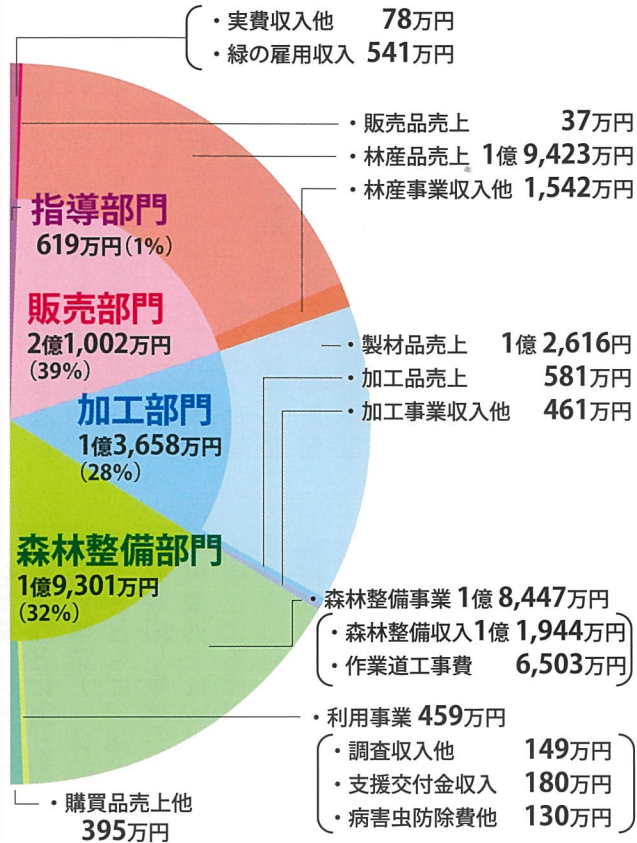


【令和5年度 事業部門別損益】

B 事業総費用 4億3,125万円



A 事業総収益 5億4,580万円



貸借対照表 令和6年3月31日現在 (単位:万円)

科目	内訳	計	科目	内訳	計
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
1. 現金		11	1. 買掛金		2,338
2. 預金		31,473	2. 短期借入金		0
3. 受取手形		0	3. 未払金		3,966
4. 売掛金		3,200	4. 未払法人税等		1,788
貸倒引当金	△ 17	3,183	5. 未払費用		0
5. 未収金		220	6. 前受金		0
貸倒引当金	△ 1	219	7. 一般預り金		343
6. 投資有価証券		9,977	8. 雑負債		0
7. 棚卸資産		2,963			
8. 前払費用		117	流動負債合計		8,435
流動資産合計		47,943	固定負債		
固定資産			固定負債		
有形固定資産			1. 退職給付引当金 4,193		
1. 建物	2,211		2. リース債務 1,909		
2. 構築物	6		固定負債合計 6,102		
3. 機械装置	936		負債合計 14,537		
4. 車両運搬具	1,058		純資産の部		
5. 工具備品	59		組合員資本		
6. 附属設備	220		1. 出資金 9,783		
7. 一括償却資産	53		2. 利益剰余金		
8. リース資産	1,580		法定準備金 12,000		
9. 土地・森林	979		任意積立金 13,593		
有形固定資産合計		7,102	当期未処分剰余金		
無形固定資産 (電話加入権、リース資産)		145	(1) 当期剰余金 4,715		
外部出資その他資産			(2) 前期繰越剰余金 2,571		
1. 系統出資金	1,099		利益剰余金合計 32,879		
2. 系統外出資金	1,015		3. 資本準備金 114		
3. その他資産	9		組合員資本合計 42,776		
外部出資その他資産合計		2,123	純資産合計 42,776		
固定資産合計		9,370	負債・純資産合計 57,313		
資産合計		57,313			

損益計算書 令和5年4月1日～令和6年3月31日

科目	計 (万円)
A 事業総収益	5億4,580
B 事業総費用	4億3,125
a 事業総利益 (A - B)	11,455
b 事業管理費	6,090
c 事業利益 (a - b)	5,365
d 事業外損益	60
e 特別損益	567
f 税引前当期利益 (c + d + e)	5,992
g 法人税、住民税額及び事業税	1,277
h 当期剰余金 (f - g)	4,715
i 前期繰越剰余金	2,571
j 当期末処分剰余金 (h + i)	7,286

令和5年度剰余金処分

摘要	小計 (万円)	合計 (万円)
I 当期末処分剰余金		7,286
II 剰余金処分額		5,127
1. 法定準備金	2,500	
2. 任意積立金	2,627	
(損失補填積立)	(100)	
(特別積立)	(30)	
(森林整備活動積立)	(284)	
(建築物修繕積立)	(613)	
(生産設備等購入)	(1,300)	
(創立60周年記念)	(300)	
III 次期繰越剰余金		2,159

令和6年度 運営の基本方針

国内経済は、コロナ感染症が第5類へと見直され、海外からの観光客の増加や個人消費の回復により、ゆるやかながら持ち直しの動きが続いています。しかし、木材消費と直結する建築需要は、昨年から続く物価の高止まり、マイナスイ金利政策の解除により住宅着工戸数の減少が予想されています。

森林政策は、利用期を迎えた人工林の「伐つて、使つて、植えて、育てる」の森林資源の循環利用サイクルを確立し、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、各種政策を行い林業・木材産業の成長産業化を後押ししていくとしています。また、花粉症対策についても、原因として最も有病率が高いスギ花粉を減少させるため、スギ人工林の面積を10年後に2割減少させることを目指し、その伐採と植替えを進め、スギ材の需要拡大と花粉の少ない苗木の生産拡大に向けた予算措置が取られています。

県林業行政では、やまがた森林ノミクス政策の展開方向と重点的な取組として「人材育成・地域づくり」「県産木材の安定供給・多面的機能の発揮」「加工流通の強化・付加価値向上」「利用促進・特用林産の振興」を4つの柱に各種政策を展開するとしています。また、新庄市に「東北農林専門職大学」が開学し森林経営学科9名を含む43名の1期生が入学、将来の林業をけん引する人材の育成が期待されています。

この様な中、組合では、中期「経営ビジョン・経営計画」を基本にして事業に取組み、昨年度から導入したタワーヤーダによる架線集材技術の検

証とレベルアップを進めます。また、近年、地球温暖化防止対策として注目されている、Jクレジット創出に取り組み、組合員所有森林の付加価値向上を目指します。この森林由来のJクレジット制度は、森林管理による温室効果ガスの吸収量をクレジットとして認定する取組で、昨年度の森林由来のJクレジットの認証量は過去最高を記録し、全国各地で取り組みが始まっています。

本年度の経営計画は、小名部、関川、戸沢地区に7林班441haの搬出間伐を進めます。また、地域内の人工林が本格的な利用期を迎えているため、集約化団地内での皆伐に積極的に取り組む、花粉症苗での再造林により花粉症対策や地球温暖化対策に貢献します。さらに、近年増加する夏の猛暑日などの過酷な気象条件化で作業を行う技能職員の健康と安全の確保に取り組みなど、就労環境の改善に取り組みます。

公的機関の発注が見込める事業として、昨年度の高温などにより激増した松くい虫防除事業は、組合員事業と一体的な森林整備として取り組みを図るとともに、林道工事支障木伐倒作業等の受託にも対応し事業の確保に努めます。

事業外では、林内路網の草刈り等の維持管理や大雨による作業道災害復旧に要する森林整備活動積立金の利用を積極的に進め、組合員利用施設の維持管理に効果的な運用を図ります。さらに、来年度、組合創立60周年に当たり記念事業を計画します。

今年度も、木材需要の低迷が続く厳しい状況が予想されますが、これら事業計画の達成に向け役員が一丸となって取り組むとともに、組合員から必要とされる、明るく開かれた組織づくりに努めます。



架線集材技術の検証とレベルアップを進める

令和6年度計画損益計画

単位：千円

指導部門	収益	6,300
	費用	8,200
	損益	-1,900
販売部門	収益	209,200
	費用	166,210
	損益	42,990
加工部門	収益	137,000
	費用	130,930
	損益	6,070
森林整備部門	収益	201,310
	費用	157,890
	損益	43,420
総計	収益	553,810
	費用	463,230
	事業総利益	90,580
ア. 事業管理費		67,960
イ. 事業利益 (事業総利益-ア)		22,620
ウ. 事業外損益		560
エ. 経常利益 (イ+ウ)		23,180
オ. 特別損益		13,100
カ. 税引前当期利益 (エ+オ)		36,280

森の掲示板

J-クレジット創出への取り組み

J-クレジットの前編...カーボンニュートラルとは？

人間が経済活動を行うと、電気を使ったり、自動車動かしたりします。こういった活動を行うと必ず温室効果ガス(CO₂等)の排出が伴います。この温室効果ガスの実質的な排出量がゼロになった状態を「カーボンニュートラル」といいます。今この取組みを日本を含む世界120以上の国と地域が2050年までの実現を目標にしています。この温室効果ガスを吸収・除去して「排出量を差引ゼロにした状態にするには、「排出量を抑える」取組みと「吸収量を増やす、除去する」取組みとが必要です。例えば「排出量を抑える」取組とは、太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギー施設の設置やEV(電気自動車等)の導入は排出量を抑制する取組になります。「吸収量を増やす」取組とは、二酸化炭素を吸収する森林の育成が挙げられます。植林や森林整備は、吸収量の増加だけでなく水の保全、生物多様性の維持にも効果が期待される取組です。この様な取組を企業や自治体では国の方針に従い低炭素社会実行計画の目標を定めて温室効果ガスの削減や環境保護への取り組みによりカーボン(炭素)オフセット(埋め合わせる)に努めています。

J-クレジット制度とは？

前記したような企業努力による排出削減にも限界があるのが実情です。そこで、削減できなかった場合に埋め合わせる方法として、温室効果ガスを削減する活動に投資したり、他の場所で削減された温室効果ガスの削減量を「クレジット」という形で購入したりする手段が認められています。このクレジットとは、再生可能エネルギーを利用することによる温室効果ガスの削減や、適切な森林管理による温室効果ガスの吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。このクレジットは売買することができ、企業活動によって多くの温室効果ガスを排出する企業等は、このクレジットを購入し、自らの排出量と相殺することができます。この際に取引されるクレジットが「J-クレジット」です。

森林由来のJ-クレジット

J-クレジットのうち、森林管理に係るものを森林由来クレジットと言います。自ら所有する、または管理し森林経営計画の認定を受けた森林については、適切な管理を行った際、その森林の温室効果ガス吸収量をJ-クレジットとして発行することができます。温室効果ガス削減を進めたい企業等が必要なクレジットを購入し、森林所有者や森林組合は、クレジットの売却により、新たな森林整備や地域活性化などに資金を活用することができます。



募集 組合員研修視察のご案内

5年ぶりとなる組合員研修視察「森林ふれあい大学」を開催いたします。行先は、4月に開学した「東北農林専門職大学」など県内を見聞する旅となります。

- ◎期 日 10月22日(火)
- ◎視察地 新庄市「東北農林専門職大学」など
- ◎日程等 貸切バス温海発着
詳しくは組合へお問合せください。
- ◎定 員 先着40名程度
- ◎参加料 5千円/お一人様
- ◎申込み 10月1日(火) まで当組合へ

募集 山の活動体験講習のご案内

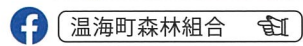
— サラリーマン林太郎講座 —

サラリーマン林家等を対象に鶴岡市と共催により開催します。皆様のご参加お待ちしております。

- ◎日 時 9月28日(土) 10時~16時
- ◎内 容 チェンソーのメンテナンスと目立て講習
スマホを使って山を歩く ※スマホのGPS機能を使った山歩き
- ◎対 象 18歳以上で興味のある市民
- ◎定 員 先着15名
- ◎申込み 9月18日まで当組合へ

温海町森林組合
令和6年度 組織構成図

住所 〒999-7123
 鶴岡市大岩川字木揚場8番地
 TEL (0235)43-2313
 FAX (0235)43-2317
 E-mail atsumisk@amber.plala.or.jp
 URL <https://www.shinrin-atsumi.or.jp>



組合員(1,537人)

総代(200人)

理事会(9人)

監事会(3人)

代表理事組合長 佐藤 静夫 (非常勤)

代表理事専務 鈴木 伸之助(常勤)



林業推進委員(31人)

管理課

課長 五十嵐雅樹
 主任(管理担当) 下本 緑
 事業アドバイザー 五十嵐茂一
 (アドバイザーは継続雇用の臨時職員)

管理課

- ◆ 庶務、企画、会計経理
- ◆ 管理、福利厚生
- ◆ 金融業務

事業課

課長 劔持 喜哉
 事業係長 長谷川義晃
 主任(事業総括) 忠鉢 春香*
 技師 難波伸太郎
 主事補 齋藤 一馬
 (*の者は管理課業務を一部兼務)

事業課

- ◆ 林産販売事業 (素材生産及び販売、特殊伐採等)
- ◆ 森林整備事業 (森林整備、搬出間伐、作業道開設、病害虫防除等)
- ◆ 加工事業 (ラミナ製材、製材品販売、看板・土木用資材・木工品等の製造販売)
- ◆ 購買事業 (苗木、林業用機材、生活物資販売、機械修理)

運輸班

班長 菅原 忍
 菅原 慶

生産整備班

<p>・A班 長 本間 祥一 副班長 柳澤 康成 班員 五十嵐朋希 班員 五十嵐諒太</p>	<p>・B班 長 佐藤 勝仁 副班長 佐藤 翔 班員 佐藤 大峰 班員 五十嵐瑠斗 班員 伊藤 奨</p>	<p>・C班 長 本間 高志 副班長 伊藤 大悟 班員 伊藤 博一 班員 加藤 想太 班員 佐藤龍之介(新採)</p>
---	---	---

・森林土木班 班長 山本 徳幸

加工班

班長 五十嵐 豊
 富樫 雄紀
 小林 秀勝
 五十嵐愛美
 斎藤 祐美
 五十嵐 勝(再雇用)

新人職員の紹介

新年度から技能職員1名を採用しました。組合員の皆様のために精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願いたします。



技能職員(生産整備班配属)
佐藤 龍之介 (七隼)
 R6.4月～



● ● お 願 い ● ●

*組合員資格等の変更届

山林の所有名義や所有面積に変更があった時は、届出をお願いします。
 ※変更に伴う各種様式については、組合ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

*森林の土地を取得したときは届出が必要

山林の売買や相続など面積に問わず全てに必要です。詳しくは、市の林務担当課へお問い合わせください。



温海地域内でも熊の出没が増えております。山林に入る際は熊鈴を鳴らしながら遭遇を回避し、万が一遭遇の時は熊撃退スプレーを使用して身を守りましょう。当組合でも右記の熊よけ対策商品を販売しておりますので是非ご利用ください。

【熊撃退スプレー】

レバーを押すとトウガラシ成分が噴射され、強力な刺激で熊を撃退します。護身用に携帯すると安心です。専用ホルスターも有ります。



カウンターアソルト
 容量230g
 16,500円(税込)

ペッパージェットスタンダード
 容量63ml
 5,500円(税込)

【熊鈴】

音が大きく遠くまで鳴り響きます。まずは熊との遭遇を避けるように身に着けることをオススメします。



6,600円(税込)

